

令和3年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補 県単

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	山梨市牧丘町西保中	地区名	(一) 塩平窪平線 (西保中)	事業主体	山梨県																																																										
計画期間	当初計画 H24~H28	現計画 H24~R3	変更計画 H24~R8	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																														
総事業費	200 百万円	200 百万円	570 百万円																																																															
(1) 事業の概要				①地域・住民の意向状況 なし ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 「山梨県総合計画」(令和元年12月策定) 「山梨県橋梁長寿命化実施計画」(令和2年11月改定) 「山梨県社会資本整備重点計画一第四次一」(令和3年3月) ⑤自然環境条件等 なし ⑥その他 なし																																																														
①事業目的及び効果 一般県道塩平窪平線は、山梨市牧丘町北原から山梨市牧丘町窪平に至る約10.3kmの路線であり、沿線の集落と国道140号を結び生活道路であるとともに、沿線には果樹園が点在し果物の栽培が盛んな地域であり、観光客が通行する路線にもなっている。当該区間は総幅員が5.5m~6.4mで、急カーブやS字カーブが存在し、視認性が悪く危険性が高いため、線形改良や拡幅等の整備を早急に進める必要がある。 <input type="checkbox"/> 主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率 39% (H22センサス) < 57%未達※ 混雑時走行速度 25km(H22切替)/h ≤ 30km/h以下※ ※評価基準値 <input type="checkbox"/> 副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 <input type="checkbox"/> 副次効果 ○災害に強い道路の確保																																																																		
②事業概要 計画延長 L=468m W=5.5(9.25)m 道路幅員 車道5.5m (2車線) 歩道2.5m (片側)				(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]																																																														
③全体計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和2年度まで</th> <th>令和3年度 (評価実施年度)</th> <th>令和4年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事</td> <td>道路改良工事</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>150 百万円</td> <td>50 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>117 百万円</td> <td>80 百万円</td> <td>373 百万円</td> </tr> </tbody> </table>											令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降	現計画	工事内容	道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事	道路改良工事	/	事業費	150 百万円	50 百万円	変更計画	工事内容	道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	事業費	117 百万円	80 百万円	373 百万円																																				
		令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降																																																														
現計画	工事内容	道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事	道路改良工事	/																																																														
	事業費	150 百万円	50 百万円																																																															
変更計画	工事内容	道路詳細設計 測量調査 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事																																																														
	事業費	117 百万円	80 百万円	373 百万円																																																														
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。 ④特記事項 (関連事業概要等) ・ (一) 塩平窪平線 (倉科工区) 道路事業 R2~R7 L=500m W=5.5 (9.25)m				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">項目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>200 百万円</td> <td>570 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工期</td> <td>H24~H28</td> <td>H24~R8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価基準年</td> <td>H23</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>202 百万円</td> <td>549 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>168 百万円</td> <td>515 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>34 百万円</td> <td>34 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮</td> <td>535 百万円</td> <td>1420 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少</td> <td>508 百万円</td> <td>1131 百万円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少</td> <td>27 百万円</td> <td>34 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>百万円</td> <td>255 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>2.6</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table> 費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上 ※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益							着手時点	変更計画時点	項目				総事業費		200 百万円	570 百万円	工期		H24~H28	H24~R8	評価基準年		H23	R2	経済効率性	費用			建設費	202 百万円	549 百万円	維持管理費	168 百万円	515 百万円	その他()	34 百万円	34 百万円	その他()	百万円	百万円	便益			走行時間短縮	535 百万円	1420 百万円	走行費用減少	508 百万円	1131 百万円	交通事故減少	27 百万円	34 百万円	その他※	百万円	百万円	その他※	百万円	255 百万円	B/C		2.6	2.2
		着手時点	変更計画時点																																																															
項目																																																																		
総事業費		200 百万円	570 百万円																																																															
工期		H24~H28	H24~R8																																																															
評価基準年		H23	R2																																																															
経済効率性	費用																																																																	
	建設費	202 百万円	549 百万円																																																															
	維持管理費	168 百万円	515 百万円																																																															
	その他()	34 百万円	34 百万円																																																															
	その他()	百万円	百万円																																																															
	便益																																																																	
	走行時間短縮	535 百万円	1420 百万円																																																															
走行費用減少	508 百万円	1131 百万円																																																																
交通事故減少	27 百万円	34 百万円																																																																
その他※	百万円	百万円																																																																
その他※	百万円	255 百万円																																																																
B/C		2.6	2.2																																																															
⑤これまでの評価状況 なし																																																																		

2.評価シート

<p>(4) 評価項目【これまでの計画変更等の概要】</p> <p>用地取得交渉が難航したことにより計画期間を5年延長した。(平成28年度)</p>	<p>④事業期間の変更理由及び進捗予定</p> <p>用地取得交渉が難航したことにより、工事進捗が遅れているため、工期を10年延長する。未取得の用地については、早期の問題解決に努め、令和8年度の完成を目指す。</p>												
<p>(5) 評価項目【事業進捗状況及び見込み】</p>													
<p>①進捗率</p> <p>別表のとおり。 R2年度進捗率(現計画)100%→(実績)97%→(変更計画)34%</p>	<p>⑤今後の事業執行における留意点</p> <p>未取得用地の取得 用地交渉を継続的に行い速やかに契約締結を行う必要がある。</p>												
<p>②進捗率実績が計画と相違している理由</p> <p>用地交渉が難航し、用地取得に時間を要したこと、及び地質調査結果により法面の対策工法の変更に伴い事業費が増大したことによる。</p>	<p>(6) 評価項目【環境負荷等への配慮】</p> <p>なし</p>												
<p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1" data-bbox="152 900 1084 1190"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法面対策工法の変更</td> <td>370百万円 増</td> <td>脆弱な地質に対して、崩壊防止対策を行う必要が生じたため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円 増減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	法面対策工法の変更	370百万円 増	脆弱な地質に対して、崩壊防止対策を行う必要が生じたため		百万円 増減		合計			<p>(7) 評価項目【コスト縮減の可能性】</p> <p>なし</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由											
法面対策工法の変更	370百万円 増	脆弱な地質に対して、崩壊防止対策を行う必要が生じたため											
	百万円 増減												
合計													
	<p>(8) 評価項目【代替案立案の可能性】</p> <p>なし</p>												
	<p>(9) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()</p> <p>(理由) 幹線ネットワークを構成する重要な路線であることから、事業期間を10年間延長し、かつ事業費を370百万円増額した上で継続する。</p>												

○別表-進捗率(事業費ベース)

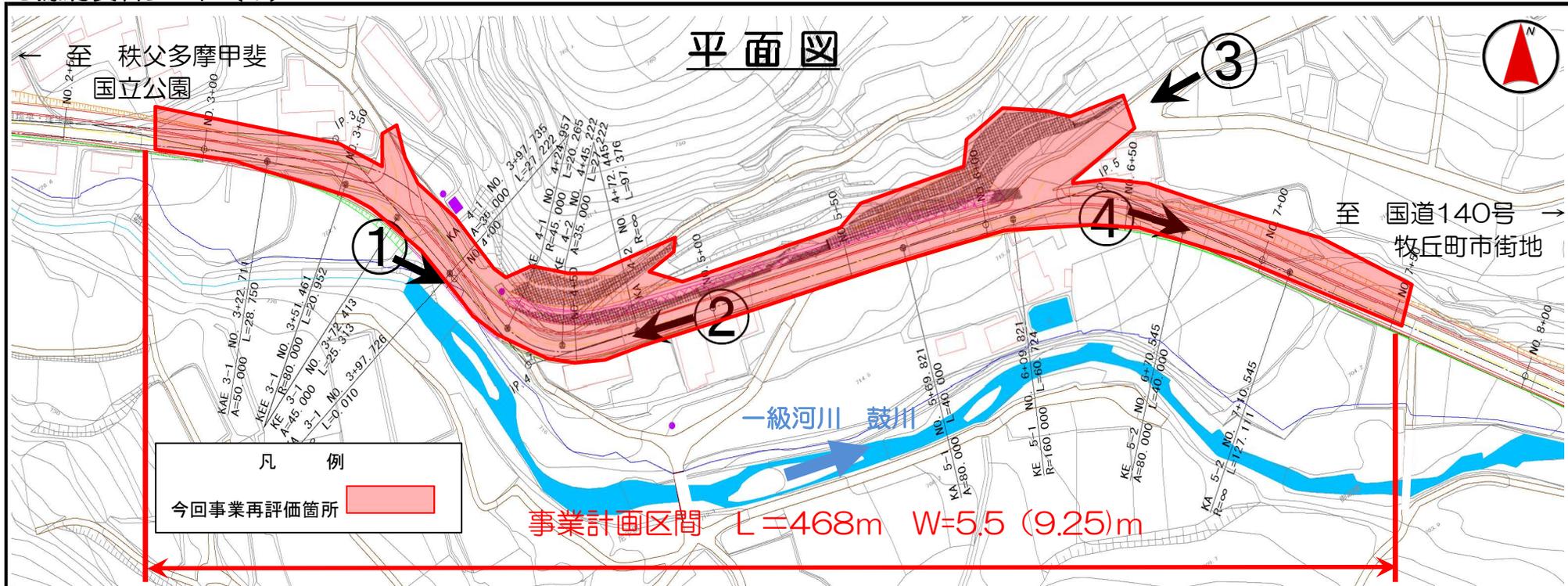
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7	R8	-	-	-
現	計画	0	3	7	9	9	30	50	75	95	100								
	実績	0	3	7	9	9	10	10	58	80	99								
変更計画											50	60	81	90	98	100	-	-	-

*事業着手年度又は評価年度

*R3年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

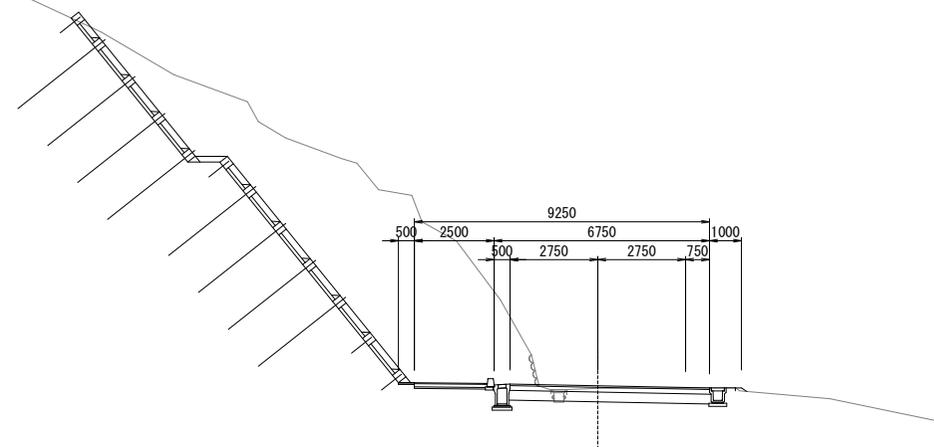


位置図



標準横断図

地質調査の結果により対象法面の地質が脆弱であったため、
法面の対策工法を植生マットから地山補強土工併用の吹付砕工に変更



3.添付資料シート(2)

①



現道の状況(急カーブにより視認性が悪い)

②



現道の状況(急カーブにより視認性が悪い)

③



現道の状況(一部法面工施工済み 地質脆弱箇所)

④



現道の状況(施工済み箇所)

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	0	事業説明、用地交渉	0.0
H25	6,846	用地取得	1.2
H26	6,830	用地取得	2.4
H27	4,839	用地取得	3.2
H28	0		3.2
H29	510	用地取得	3.3
H30	0		3.3
H31/R1	97,730	用地取得、道路改良工 L=50m	20.5
R2	76,400	用地取得、道路改良工 L=33m	33.9
R3	90,861	用地取得、道路改良工 L=60m	49.8
R4	55,984	用地取得、道路改良工 L=160m	59.6
R5	120,000	道路改良工 L=70m	80.7
R6	50,000	道路改良工 L=55m	89.5
R7	50,000	道路改良工 L=40m	98.2
R8	10,000	台帳修正業務	100.0
合計	570,000		